

P C A T用ホスト・カード・インターフェース説明書

RealTimeEvaluator

1 . はじめに

本製品は、PC-AT 互換機の ISA バススロットに実装して使用する、RTE シリーズ用のインターフェース・カードです。

本製品には、下記のものが付属しています。最初にご確認下さい。

1 . PC-AT 用 ホストカード	1 枚
2 . インターフェースケーブル	1 本
3 . 取り扱い説明書（本書）	1 冊

2 . 基本仕様

対応機種

本製品は、PC-AT 互換機で ISA バスを有した機種が対象です。

使用ハードウェア資源

I/O アドレス	200h から 3FFh の間で任意の 16 バイト境界中の 16 バイト
割込み、他	未使用

消費電流

+5V, 500mA(max)

お取り扱い上の注意

- ✓ カードに重いものを乗せたり、圧力を与えないで下さい。
- ✓ カードを落としたり、振動や衝撃を与えないで下さい。
- ✓ ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないで下さい。
- ✓ 高温、多湿、ほこりの多い環境や直射日光のある環境での使用や保存を避けて下さい。
- ✓ 急激な環境（温度や湿度）の変化を避けて下さい。
- ✓ カードや付属品に飲み物や水分をこぼしたりしないで下さい。
- ✓ 間違えて、他の製品のケーブルをコネクタに接続しないで下さい。

3 . インストール

3 . 1 I/O アドレスの設定

SW1,2 は、ISA バスの I/O アドレス選択のスイッチです。SW1 の番号 1 ~ 8 が ISA バスのアドレス A4 ~ A11 に、SW2 の番号 1 ~ 4 が ISA バスのアドレス A12 ~ A15 対応しています。したがって、I/O アドレスとして 000xH ~ FFFxH が選択できます。なおスイッチは、OFF で "1"、ON で "0" の値となります。RTE では、20xH ~ 3FxH の間で設定して下さい。

ここで設定するアドレスは、PC のシステム及び他のボードで使用していない値でなければなりません。また、ソフトウェアのインストールでこの値を使用しますので、後で分かるようにしておいて下さい。

SW1 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	
アドレス	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	I/O アドレス
ON/ OFF	0	0	0	0	0		0	0	020xH (出荷時の設定)
						1			

SW2 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	
アドレス	A12	A13	A14	A15	OFF	OFF	OFF	OFF	I/O アドレス
ON/ OFF	0	0	0	0		1	1	1	020xH (出荷時の設定)
						1			

注意

SW2 の 1 ~ 4 は ON, 5 ~ 8 は OFF でご使用下さい。

3 . 2 P Cへの設置

PC の電源が切れている事を確認し、PC の取り扱い説明書にしたがって、ホストカードを ISA バス・スロットに取り付けて下さい。

3 . 3 RTE-xxxx-IE との接続

付属のケーブルを使用して、RTE-xxxx-IE を CH0 側に接続して下さい。

注意

RTE-xxxx-IE シリーズとの接続は CH0 側のみ可能です。

これ以外の機種との接続はそれぞれの製品の取扱い説明書を参照して下さい。

- Memo -



PC - AT用ホスト・カード・インターフェース説明書

M621MNL01

作成 1996年5月2日 Rev.1.0